

第4章 新市建設の基本方針

1 新市の将来都市像

岡山市、御津町及び灘崎町の位置する県南中央地域は、北部のなだらかな丘陵地、旭川、吉井川の河口に広がる岡山平野、児島湾干拓による広大な農地、風光明媚な瀬戸内海等の豊かな自然環境に恵まれた地域であり、また、古代吉備の歴史と文化が育まれた地域でもあります。

さらに、新市は、道路・鉄道・空路などの交通網が集中した中四国の交通結節点であり、都市発展のための社会的条件に恵まれ、岡山県の県庁所在地として、政治・経済・文化の中心となっています。

こうした中、少子・高齢化の進展や地方分権時代の本格的到来により、都市間競争が激化しており、1市2町の合併によって、定住人口の増加に向け、地域の持つ優位性を活かしながら、福祉の整った国際的にも通用する、「住みよいまち、住みたいまち、住み続けたいまち」を目指します。

また、豊かな自然環境や地域の伝統文化を活かしながら、広域交通網の充実など交通基盤の整備や都市機能の集積などを行い、世界に誇りうる中四国の中枢拠点都市としての発展を目指し、次の将来都市像を掲げて、積極的にまちづくりを推進します。

未来を担う人が育ち、活気あふれる豊かな『国際・福祉都市』

2 まちづくりの基本方針

新市の将来都市像を実現していくため、次の6つの基本方針を掲げ、具体的な施策の展開を図ります。

■ まちづくりの6つの基本方針

【健康・福祉】	健やかで、心がかよう、安心福祉都市の実現
【生活・環境】	共に支えあい、環境にやさしい、安全都市環境の形成
【教育・文化】	人が育ち、文化が薫る、個性輝く国際都市の創造
【都市・交通】	快適で、ゆとりある、魅力的都市空間の創出
【産業・交流】	人々が集い、活力あふれる、豊かな地域産業の振興
【都市経営】	市民と共に歩む、都市内分権型行政の推進

(1) 健やかで、心がかよう、安心福祉都市の実現

少子・高齢社会を迎える中で、全ての市民が健やかで、安心して生活できる、くらしやすい福祉のまちづくりを進めます。

そのため、保健・福祉・医療の面での施設整備を進め、児童をはじめ高齢者、障害者、勤労者の福祉の充実に市民と協働して取り組むとともに、地域医療体制や救急医療体制の充実に努めつつ、地域保健活動を推進して市民の自主的な健康づくりの支援などに取り組みます。

(2) 共に支えあい、環境にやさしい、安全都市環境の形成

市民が安全に生活するために、災害から生命・身体・財産を守るとともに、豊かな自然と調和した都市環境の構築を目指します。

そのため、消防・防災・救急体制の整備、治山・治水対策等の充実、また、地域ぐるみの交通安全運動や防犯運動等の推進に努めます。

さらに、快適な居住環境の形成のため、公園・緑地等の整備を進めるとともに、環境にやさしいごみ処理対策や汚水処理施設の整備を行い、地球環境の保全を視野に入れた資源循環型社会の実現を目指します。

(3) 人が育ち、文化が薫る、個性輝く国際都市の創造

市民一人ひとりが、生涯を通じて充実した生活を送れるように、人権が尊重される社会の実現、男女共同参画社会の形成を促進するとともに、学校教育や生涯学習の環境の整備等を図る必要があります。

そのため、人権尊重意識の醸成と男女共同参画の理念の浸透を図り、学校・図書館・公民館などの整備を進め、特色ある学校教育の推進や生涯学習の機会の提供に努めます。

さらに、歴史・伝統・文化の継承や芸術・スポーツ・レクリエーション活動等の振興を図るとともに、諸外国との交流を進め、世界に情報を発信します。

(4) 快適で、ゆとりある、魅力的都市空間の創出

岡山県の県都として、広域拠点性を高め、都市内の均衡ある発展に努めるため、都市交通体系の整備や高次都市機能の集積を図ります。

そのため、中心市街地の活性化を図るとともに、各地域の特性を活かした拠点整備を進めます。

さらに、広域交通ネットワークの構築や都市における円滑な交通体系を確保するとともに、高度情報化社会に対応するため、情報通信基盤の整備を促進します。

(5) 人々が集い、活力あふれる、豊かな地域産業の振興

産業構造の変化や多様化する消費者ニーズに対応するため、農林水産業や商工業など地域産業の活性化を図り、交流人口の増加に努めます。

そのため、農林水産業においては、基盤整備を進めるとともに、担い手の育成や新たな地域特産品の創出に努めます。また、商工業に関しては、商店街の活性化や新規産業の育成など中小企業支援に努めるとともに、企業誘致を促進します。

さらに、交流人口の増加に向けては、観光資源等の積極的な宣伝や観光イベントを開催するとともに、コンベンション機能の充実を図ります。

(6) 市民と共に歩む，都市内分権型行政の推進

多様で高度化する市民ニーズに対応し，住民に最も身近な基礎自治体として行政サービスを提供していくために，持続的・安定的な行財政の運営が求められています。

そのため，電子自治体の推進をはじめとした行政事務の効率化・高度化を図るとともに，市民との協働のまちづくりを進めます。

さらには，都市内分権を進めるとともに，周辺自治体と広域連携を図り，中四国地域における中枢拠点都市圏を形成し，将来的には，政令指定都市を目指します。

3 土地利用の基本方針

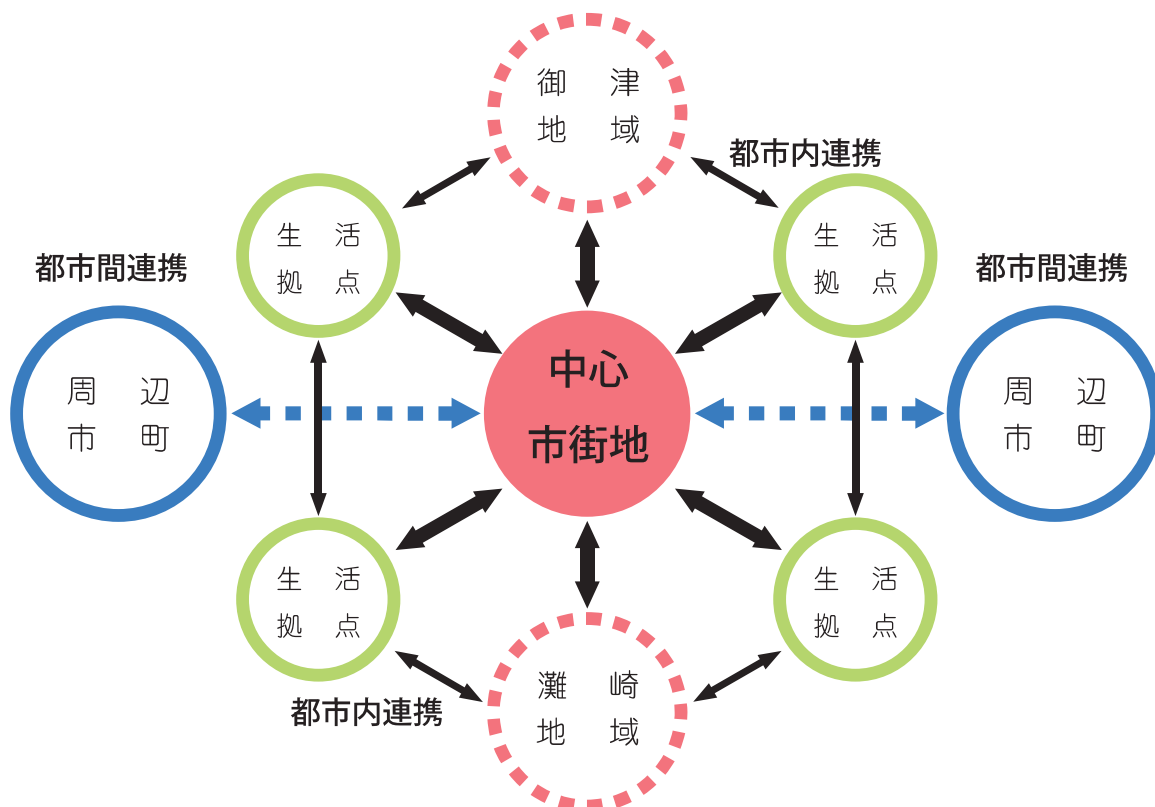
新市は、都市機能が集積する市街地を中心として、周辺部には、生活の場としての住宅地が広がり、商業施設等が立地した生活拠点が点在する都市構造となっています。

計画的な土地利用の推進により、これらの地域が、それぞれの機能を分担し、相互に連携して、全体として調和の取れた多核型の有機的な都市構造の形成を目指します。

中心市街地においては、交通結節点としての岡山駅周辺整備、商業・業務空間の形成や良質な都市型住宅の確保等の再開発の推進、賑わいと活力あふれる商店街の再生等により、一層の都市機能の集積を図り、魅力的な市街地の形成に努めます。

一方、周辺部においては、農地・山林などの豊かな自然環境と共生しながら、道路・都市公園・下水道・農業基盤などの整備や保健福祉・医療施設の充実を進め、美しく快適な生活拠点の形成を図ります。

[都市構造図]



土地利用方針図



凡 例	
	中心市街地
	住居系ゾーン
	工業系ゾーン
	自然環境地域 (田園地域)
	自然環境地域 (山林等緑地地域)

※自然環境地域には集落地域 (農山漁村集落) を含む

(1) 御津地域のまちづくり

御津地域は、新市の北部に位置し、南北に縦断する国道53号とJ R津山線により中心市街地と短時間で結ばれ、さらに、山陽自動車道岡山インターチェンジや岡山空港にも近接しており、広域・高速交通網の利便性により、県営御津工業団地をはじめとする工業団地への企業立地が進む地域です。

また、当地域には、旭川・宇甘川を代表とする清流とその流域に点在する集落や農地、地域の約4分の3を占める森林など、牧歌的な風情が残っています。

そのため、当地域の整備方針としては、最大の財産であるこれらの豊かな自然資源を積極的に保全活用し、産業との共生を図りながら適正な土地利用を推進し、健康で安心して暮らせる個性豊かなまちづくりを目指します。

① 地域の拠点づくりと広域交通網整備による産業の振興

金川小学校跡地周辺及び御津スポーツパークを、新市の北部地域における保健・福祉・医療・スポーツ等の拠点として位置付けて、施設整備や利活用を進めるとともに、J R津山線の各駅周辺整備により、魅力的な都市空間の形成に努めます。

また、御津地域への広域幹線道路網や生活道路の整備により、県営御津工業団地など既存の工業団地の立地環境の整備を進め、さらには、広域・高速交通網の結節点としての優位性を活かし、環境にやさしい企業の誘致を行い、活力ある産業拠点の形成を図ります。

② 農林業の活性化と快適な居住環境の創出

御津地域は、水と緑あふれる豊かな自然環境を保全し、農業生産の基盤となる優良農地の確保と活用を図るとともに、生産物の付加価値を高めるため加工・販売を行い、農業経営の近代化を図ります。また、自然と共生する公園施設の整備などを進め、人々が集い活力を生み出す交流の新拠点を創出します。

さらには、下水道や道路など生活関連施設の整備や岡山空港周辺の天然ガス化にあわせ、当地域でも都市ガスを促進するとともに、教育環境の整備や高度情報通信基盤整備を進め、快適な居住環境の創出を図り、定住促進に努めます。

(2) 灘崎地域のまちづくり

灘崎地域は、新市の南部に位置し、地域を南北に国道30号、J R宇野線、瀬戸大橋線が走り、中心市街地と短時間で結ばれているという恵まれた立地条件にあり、新興住宅地の形成が進んでいます。

また、当地域は、広大な干拓地が約3分の2を占め、全国でも有数の農業地帯となっており、さらに、緑豊かな田園や山林など自然環境にも恵まれています。

そのため、当地域の整備方針としては、農業の振興を図るとともに、優れた自然環境に配慮した適切な土地利用の推進により、定住環境を創出し、新市の南部における新たなまちづくりを目指します。

① 魅力あるまちづくり、快適な居住環境の形成

灘崎地域では、ウェルポートなださき、灘崎町総合公園、灘崎町町民会館を、新市の南部地域における福祉・スポーツ・文化の活動交流拠点として位置付け、今後ともその整備充実を推進し、さらなる利活用を図ります。

定住促進に向けては、既存集落と調和した都市型土地利用への転換を進め、快適な住宅地の形成に努めます。そのために幹線道路から生活道路に至る道路網の整備をはじめ、総合的な交通網の整備を進め、さらに、住民の利便性向上のため、高度情報通信基盤整備を推進します。

② 広大な干拓農地を活かした農業の振興

自然環境を貴重な財産として守りながら、広大な優良干拓農地の保全・活用を推進し、基幹作物である米・麦の生産性向上を図るとともに、地域の特産品として定着している備南千両ナス、早煮えレンコン、マッシュルーム等に加え、さらに収益性の高い地域特産品の開発を推進するなど、魅力ある農業経営の展開を図ります。

また、都市近郊型農業による地域の発展を目指し、岡山県の「おかやまファーマーズマーケット・サウスヴィレッジ」を活用しながら、興除・藤田地域等を含め、新市の南部地域における新たな農業拠点の形成を図ります。